

6月 ふたば

令和8年5月25日 社会福祉法人こどものいえ 双葉こども園 (57-2818) 副園長 岩崎 愛実

紫陽花の花が少しずつ色づき始め、梅雨の気配を感じる季節となりました。5歳児ゆり組が近隣の田んぼへ田植え体験に出かけ、また、それぞれのクラスで畑に苗植えや種まきなどの経験をしました。交代で水やりも行っています。これから双葉こども園の畑も子ども達と同様、生長が楽しみです。また、運動会が近づいてきました。子どもたちは汗をかきながら走ったり踊ったりと運動会に向けての活動を楽しんでいます。元気な子どもたちの姿を観て一緒に楽しんでいただけたら幸いです。

【保育目標】

- 梅雨期の自然に興味を持ち、動植物や自然現象を見たり、触れたりすることを楽しむ
- 梅雨期の保健衛生に留意し、快適に過ごす
- 歯の大切さを知り、様々な食材をよく噛んで味わう

【6月の予定】

3日(水) 親子遠足(4歳児)	16日(火) 佐和田図書館見学ツアー(5歳児) (予備日 6月26日(金))
4日(木) 身体測定(2, 1, 0歳児)・ おはなしひろば	17日(水) 誕生会
5日(金) 身体測定(5, 4, 3歳児)	23日(火) ミュージック・ケア(3歳児)
6日(土) 保護者会草刈り(3歳児・2歳児保護者)	25日(木) 避難訓練(消防士来園)
10日(火) 交通安全指導	26日(金) 布団持ち帰り
12日(金) 運動会(2歳児以上参加)	30日(火) 不審者訓練

【7月の主な予定】

- ・1日(水) キッズハウスひろば(カイロプラクターによる発達にそったベビーとのふれあい遊び)
- ・11日(土) 保護者会草刈り2回目(4歳児、1歳児) ・15日(水) 誕生会

新しいお友だちを紹介します

ちゅうりっぷ組(1歳児)

はらた ゆうな
原田 優凧 さん

(6月22日入園)



教育実習生が来ます。

国際こども・福祉カレッジ 3年生

期間：6月15日(月)～7月10日(金)まで

【6月のうた】

♪しゃぼんだま ♪とけいのうた
♪それもいいね
♪ぽっつんぽっつあめがふる
(わらべうた)

今月のわらべうた

♪「ぽっつんぽっつあめがふる」

ぽっつんぽっつ あめがふる
ぽっつんぽっつ あめがふる
ざーざーっとあめがふる



～ご家庭でもお子さんと
触れ合って遊んでみてく
ださい～

双葉こども園、園だより「ふたば」では、毎月の行事、歌やお知らせの他に子どもたちの今、体験している活動の様子を発信しています。今月は、ふたばおはなしひろば(ゆり組)、3歳児(ばら組)ミュージック・ケアの活動の様子です。

ゆり組(5歳児) ふたばおはなしひろば



図書館司書の宇治さんより

たくさんの絵本のお話に親しむ機会となりました。

5月14日(木)は、さわた図書館司書の宇治さんから虫や動物が登場する様々なお話の読み聞かせをしていただきました。子どもたちは絵本の世界に引き込まれるような様子で、目を輝かせながらお話の面白さに釘付けでした。また、初めて体験する「アニメーション」を楽しんだり絵本の中の虫や動物など興味や関心を持ったりしながら、生き物の生態や特徴について学びを深める時間となりました。さらに子どもたちの提案で、さわた図書館へ行って、お気に入りの絵本を見つけて読んでみたいことや調べてみたいという声が出たことから、さわた図書館への「見学ツアー」を計画しました。

～絵本のお話を再現してみよう～

「アルマジロは体を丸くするから丸いポーズ！」



絵本「とりかえっこ」より「動物の声を“とりかえっこ”してみよう」

ばら組(3歳児) ミュージック・ケア

今年度より月に1回、3歳児でのミュージック・ケアを実施しています。音楽に合わせて体を動かしたり、歌ってみたり子ども自身で表現することを楽しんでいる姿が見られました。しゃぼん玉やスカーフなど身近な素材も、音楽が流れるとわくわくした気持ちが生まれ、自然と笑い声や笑顔が溢れる素敵な時間になりました。

「次はなにをやるのかな?と、」来月のミュージック・ケアを楽しみにしています。

みんなのお花が咲きました



音楽に合わせて
しゃぼん玉をふう～

落ちないように進むのは
なかなか難しいね

5月19日、保護者の皆さまのご協力のもと、避難訓練と引き渡し訓練を実施しました。お忙しい中ご参加いただいたみなさまには、心より感謝申し上げます。今回は、園児だけでなく保護者の皆さんにも実際に避難ルートを歩いていただき、災害時の動きを体験していただく貴重な機会となりました。

園と家庭が同じ行動イメージを持つことは、子どもたちの命を守るうえでとても大切です。皆さんの真剣な姿勢に、職員一同心強さを感じました。

カ 避難ルートを「知っている」から「使える」へ

訓練では、園児たちが職員の指示をよく聞き、落ち着いて避難する姿が見られました。また避難所まで一生懸命あるく姿がありました。しかし、災害はいつ起こるかわかりません。園にいる時・登降園の道中・休日の外出先などの場面でも、自分がどこにいて、どこへ逃げるべきかを大人が判断し、子どもを導く必要があります。

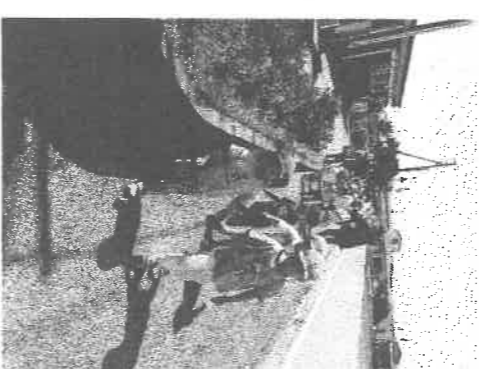
避難ルートは「知っている」だけでは不十分で、実際に歩いて初めて気づく危険や改善点があります。ぜひご家庭でも、通園ルートや自宅周辺の避難場所を、親子で一緒に確認してみてください



引き渡し訓練の大切さ

災害時、園では子どもたちを安全に保護者へ引き渡すまで責任を持って預かります。しかし、道路の寸断・通信障害・交通渋滞などにより、保護者がすぐに迎えに来られない可能性があります。

今回の訓練では、引き渡しカードの確認・職員との連携・保護者の動線を実際に試すことで、改善点を共有することができました。訓練を重ねることで、災害時の混乱を最小限にし、子どもたちの安全を確保できます。



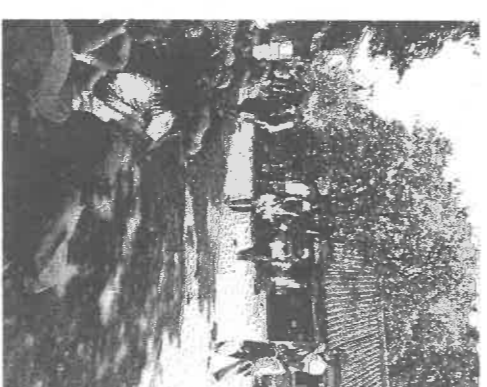
園の指定避難所について

園では災害時の避難先を次のように定めています。避難時は園児玄関に避難先を掲示しますので、通信などが使用できない場合は掲示をご覧ください。

第1避難所	園庭
第2避難所	鍛冶町公園
第3避難所	佐渡高校グラウンド
第4避難所	蓮華院
第5避難所	長木集会所
第6避難所	二宮小学校

津波、洪水時は石田川を渡る
ことが困難です。

その場合は地域の方にご協
力いただき、蓮華院や長木
集会所に避難します。



避難先の蓮華院での様子

乳幼児と避難する際の心得

乳幼児との避難は、大人だけの避難とは違う難しさがあります。特に大切なのは次の4点です。

- 抱っこ・おんぶの切り替え 長時間の抱っこは大人の体力を奪います。状況に応じておんぶも活用しましょう。
- 最低限の持ち物を優先する おおつ・飲み物・タオルなど、命に関わるものを優先し、荷物は最小限に。ただしかさばらないお子さんが安心できるグッズなどがあると不安を和らげることができるとあります。
- 子どもの不安を受け止める 災害時は大人も不安になります。子どもはさらに敏感です。「大丈夫だよ」と声をかけ、安心できる雰囲気をつくるのが大切です。
- 親子で日頃から話しておく 「地震の時はこうするよ」「先生と一緒に逃げるよ」「必ず迎えに行くから心配しないでね」など、日常の会話がいざという時の行動につながります。

最後に

災害は予測できませんが、備えることはできます。園と家庭が同じ方向を向き、子どもたちの命を守るためにできることを積み重ねていくことが何より大切です。今回の訓練を通して得た気づきを、今後の安全対策にしっかりと生かしてまいります。引き続き、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

双葉こども園 園長 松野亜希子